

第 192 回 学長定例記者会見

日時：令和 8 年 6 月 25 日（木）11：00 ～ 11：30

場所：広島大学 霞キャンパス 臨床管理棟 3 階 大会議室

（広島市南区霞 1-2-3）

※ テレビ会議システムによる配信は行わない

※ YouTube による録画配信を実施

【発表事項】

1. 大学を評価する国際的評価機関によるランキングについて
2. 8 月 6 日に世界の大学長らが集結！
第 6 回平和学長会議を広島で開催します
3. 学部別模擬授業や研究施設見学等で魅力を発信！
広島大学オープンキャンパス 2026 を開催します（8 月 5 日、7 日開催）
4. モンゴル全土から選抜された優秀な学生 22 人が来日
モンゴル国大統領奨学金を受給する学生を迎え、広島大学留学プログラム
が開講（7 月 7 日開催式）
5. 平和の構築に向けて世界 30 カ国の多様な科学者が広島大学に集結
日本初開催の「World Forum for Women in Science」を本学で開催
（7 月 18 日～20 日開催）

【お知らせ事項】

1. 「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（通称 J-PEAKS）」の取り組みに関する報告
2. 第 1 回 FCEI 高校協働セミナー「探究の多様性」を開催
SSH 指定校の実践から探究的な学びを考える（7 月 12 日開催）
3. 世界の作家や研究者らが文学にある核を語る
国際会議「トランス／ナショナルな核の表現と想像力」を開催
（6 月 27 日～28 日開催）

■次回の学長定例記者会見（予定）

日時： 令和 8 年 7 月 27 日（月）

場所： 広島大学 東広島キャンパス

**国連の SDGs（持続可能な開発目標）への
貢献度ランキングで世界 77 位にランクイン！**

イギリスの高等教育専門誌 Times Higher Education^{*1}が 2026 年 6 月 24 日、「THE サステナビリティ・インパクト・レーティング（旧インパクトランキング）2026」^{*2}を発表しました。

広島大学は、総合ランキングで世界 77 位（1,603 大学中）、国内 2 位（30 大学中）にランクインしました。本学が総合ランキングで世界トップ 100 にランクインしたのは今回が初めてです。これまでも 6 年連続で 101-200 位を維持してきましたが、地道な取り組みを積み重ねた結果、かねてより本学が掲げてきた世界トップ 100 という目標を達成することができました。

今回の成果は、本学が推進するカーボンニュートラル×スマートキャンパス 5.0 の取り組みをはじめ、2030 年の SDGs 達成に向けて、世界への貢献を地道に積み重ねてきた結果であると認識しています。特に近年はこれらの取り組みを積極的に社会に発信し、その成果や知見を還元してきたことが、今回の評価につながったものと考えます。

SDGs 項目別ランキングでは、以下のとおり、5 項目が世界トップ 50 にランクインしました。

項目		世界順位	
		今回	前回
SDG1	貧困をなくそう★	36 位	= 84 位
SDG2	飢餓をゼロに	46 位	101-200 位
SDG9	産業と技術革新の基盤をつくろう★	49 位	89 位
SDG15	陸の豊かさを守ろう★	37 位	41 位
SDG17	パートナーシップで目標を達成しよう★	42 位	= 67 位

★は総合スコア算出に使用された 4 項目

総合ランキングは、SDG17(パートナーシップで目標を達成しよう)を必須とし、SDG1 から SDG16 までで、SDG 間のスコアの分布の差などを加味した THE 独自の基準により選ばれた 3 項目のスコアを組み合わせ算出されます。

本学の総合スコアの算出に使用された項目は SDG1「貧困をなくそう」、9「産業と技術革新の基盤をつくろう」、15「陸の豊かさを守ろう」、17「パートナーシップで目標を達成しよう」でした。

SDG1 では、本学が共同研究や政策提言、能力開発を通じ、地域から世界レベルまで貧困対策に貢献していることが、また SDG9 では、産業界からの研究資金の受入増や、大学発ベンチャーの創出実績などが評価されたと考えられます。

一方、SDG15 では、環境省の「自然共生サイト」への認定を含む生物多様性保全に向けた取り組みをはじめ、今年 11 月に開館 20 周年を迎える総合博物館の活

動や、質・量共に充実している SDG に関連する研究も今回の評価につながりました。

さらに、SDG 17 では、平和で持続可能な未来に向けたパートナーシップ構築を目指す「NERPS 国際学術会議 (NERPS Conference)」の活動などが高く評価されました。

※総合ランキングで使用された 4 項目に関連する本学の具体的な取り組みの一部を別紙にて紹介しておりますので、ご参照ください。

本学は、新しい平和科学の理念である「持続可能な発展を導く科学」を実践する世界トップクラスの教育研究拠点を構築し、多様性を育む自由で平和な国際社会の実現に貢献する「平和を希求しチャレンジする国際的教養人」を育成してきました。今後も 2030 年の SDGs 達成、そしてその先の平和で持続可能な世界を実現するため、世界からその貢献が見える広島大学を目指し、活動を積み重ねてまいります。

※1= Times Higher Education (THE) とはイギリスの高等教育専門誌。大学の総合力を可視化する「THE 世界大学ランキング」をはじめ、地域別や分野別などさまざまな切り口で大学を評価している。

※2= THE サステナビリティ・インパクト・レーティングとは THE の各種ランキングで、国連の SDGs の枠組みを用いて大学の社会貢献度を評価するランキング。2019 年に「THE インパクトランキング」として始まり、8 回目となる 2026 年から「THE サステナビリティ・インパクト・レーティング」に名称を変更した。

URL : <https://www.timeshighereducation.com/impactrankings>

Times Higher Education
Sustainability Impact Ratings 2026

世界トップ100

世界77位を達成!
SDGs5項目で世界トップ50にランクイン!
SDGs3項目が国内単独1位!

HIROSHIMA UNIVERSITY

【お問い合わせ先】

総合戦略室総合戦略グループ 新藤
TEL:082-424-6444 FAX:082-424-6007
MAIL: u-strategy@office.hiroshima-u.ac.jp

SDG1、9、15、17に関連する本学の取り組み（抜粋）

本学では、各SDGに関連するさまざまな取り組みを通じてSDGs達成に貢献しています。今回総合ランキングに使用されたSDG1「貧困をなくそう」、9「産業と技術革新の基盤をつくろう」、15「陸の豊かさも守ろう」、17「パートナーシップで目標を達成しよう」の4項目に関する取り組みの一部をご紹介します。

●SDG1「貧困をなくそう」

- 本学は、共同研究や政策提言、能力開発を通じて、地方、地域、国内、世界レベルでの貧困対策に貢献しており、これらの取り組みに関する情報を集約し、HPで公開しています。

【広島大学の貧困対策における政策・ポリシー・取組を通じた貢献】

<https://nerps.hiroshima-u.ac.jp/efforts-list/efforts-list-4802/>

- 大学院医系科学研究科小児歯科学研究室では、2009年からカンボジアで歯科医療支援活動を実施しています。内戦により教員や医師・歯科医師の虐殺が生じ、1970年代後半に教育や医療が崩壊したため、未だに歯科医療や歯科保健の供給、歯科医師の養成が不十分なカンボジアで、本学歯学部は、NPO法人NGOひろしま「アジアの子どもの歯を守る会」や現地の大学歯学部などと協力して活動を続けています。当研究室は特に全体の企画や運営を引き受けるなど、活動の中心を担っています。



【カンボジアにおける歯科医療支援活動】

<https://pedo.hiroshima-u.ac.jp/laboratory/#labo01>

- 大学院統合生命科学研究科の島田昌之教授の研究グループは、2019年に簡便な雌雄産み分け法を応用したウシの人工授精法の研究成果を発表しました。翌年には、感染症と貧困の撲滅を目指すビル&メリンダ・ゲイツ財団から3年間で約270万米ドルの助成を受け、インドにおける貧困層の食料問題解決を目指し、雌牛の繁殖頭数を増やして牛乳生産量を高める研究を進め、実用化技術の開発に成功しました。この技術を世界に広めるためには、簡便で安価な精子保存法の実用化が不可欠です。そこで2025年、同財団からさらに約180万米ドルの助成を受け、同年10月からの3年間で新たな研究に取り組んでいます。インドの農業団体や政府研究機関と連携し、インド・アフリカ地域の小規模酪農家が高い生産性と適応性を備えた牛や水牛を入手できる環境を整え、収入の向上を目指しています。



【広島大学発の牛の人工授精のための精液保存法の研究に約 2.6 億円の助成が決定】

<https://drdc.hiroshima-u.ac.jp/260120-2/>

●SDG9「産業と技術革新の基盤をつくろう」

- ・前回の本ランキングから、産業界からの研究資金の受入が増加したことに加え、研究成果をもとにした大学発ベンチャーの創出が進んでいることが評価につながったと考えられます。これらの成果は、本学が産学連携を通じて研究力を社会に還元し、新たな産業や価値の創出に貢献していることを示しています。

【大学発ベンチャー起業実績】

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/iagcc/venture/kigyousisseki>

●SDG15「陸の豊かさを守ろう」

- ・本学では、生態系保全のための教育の充実や、「カーボンニュートラル×スマートキャンパス 5.0」の実現に向けた取り組み、適切な廃棄物処理の徹底などを通じて、土地の豊かさを維持する活動を継続して推進してきました。近年は、これらの取り組みを積極的に公開し、その成果や知見の共有を図っています。
- ・東広島キャンパスの「発見の小径 水辺ゾーン」は、環境省から「自然共生サイト」に認定されています。「自然共生サイト」とは、「民間の取り組み等によって生物多様性の保全が図られている区域」を環境省が認定する区域のことで、生物多様性の価値維持、質の向上が促進され、日本における 30by30 目標（2030 年までに、陸と海の 30%以上を健全な生態系として効果的に保全しようとする目標）達成への貢献が期待されます。長年にわたり東広島キャンパスの生物相を調査した総合博物館および東広島植物園のスタッフ、地元の方々、総合博物館公認の学生ボランティア CSR（キャンパス・スチューデント・レンジャー）の活動が高く評価された結果と言えます。認定区域では、環境省や広島県のレッドデータブックに掲載されている昆虫類、植物、鳥類などの希少種が計 53 種確認されているほか、広島県のレッドデータブックに掲載されているニホンアカガエルが、区域内で毎年繁殖していることも明らかになっています。



「自然共生サイト」認定区域（黄色枠のエリア）



CSR 活動の様子

【自然散策道「発見の小径」】

<https://www.digital-museum.hiroshima-u.ac.jp/~humuseum/hakken-no-komiti.html>

【CSR（キャンパス・スチューデント・レンジャー）】

<https://www.digital-museum.hiroshima-u.ac.jp/~main/index.php/CSR>

●SDG17「パートナーシップで目標を達成しよう」

- 本項目では、SDGs 達成に向けた他機関との連携に加え、SDGs 報告書の発行、SDGs に関する教育など、対象大学の活動全体が評価されます。本学では、本学の SDGs 活動の拠点である広島大学 FE・SDGs ネットワーク拠点 (Network for Education and Research on Peace and Sustainability(NERPS))が開催する「NERPS 国際学術会議 (NERPS Conference)」や、大学院共通科目の実施、SDGs に関する公開講座・イベントの実施などの取り組みが総合的に評価されたものと考えております。
- NERPS は、2022 年以降、毎年「NERPS Conference」を開催しています。本会議は、学生、研究者、実務家が一堂に会し、平和で持続可能な未来に向けたトランスディシプリナリー研究および協働のためのパートナーシップの構築を目的としています。2026 年 3 月に国際連合大学と共同で東京の同大学本部にて開催した「2026 年 NERPS 国際学術会議 (NERPS 2026 Conference in Tokyo)」には、世界 37 か国の 152 の大学・研究機関から 322 人が参加し、多岐にわたる研究発表、専門家によるラウンドテーブル・ディスカッション、革新的ワークショップが実施され、合計 63 の分科会が開催されました。口頭発表は 242 件に上ったほか、今次会議で初めて 22 件のポスター発表が行われ、平和で持続可能な社会の実現に向けた取り組みにかかる情報と意見の交換やネットワークづくりの機会になりました。



【NERPS 2026 Conference in Tokyo】

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/notification/news/96671>

令和 8 年 6 月 25 日

～8 月 6 日に世界の大学長らが集結！～
第 6 回平和学長会議を広島で開催します

広島大学は、2026 年 8 月 6 日、広島原爆の日に「第 6 回平和学長会議」を開催いたします。この会議では、平和学長宣言の趣旨に賛同した世界の有力大学の学長が集結し、持続可能な世界平和に向けた大学の役割について議論します。

なお、前日の 8 月 5 日には、「平和学長会議第 1 回専門家会合」を開催いたします。この会議では、「Beyond SDGs」を総合テーマに掲げ、SDGs の達成期限である 2030 年以降を見据えた新たな枠組みの検討、並びにデュアルユース技術開発のガバナンスについて議論を深めることを目的とし、国内外の専門家と議論を行う予定です。

現在世界で起きている紛争や我々が直面する持続可能な開発目標の課題を考慮すると、和平プロセスには多様な視点と深い理解が不可欠だと考えています。大学には、将来の人材育成、研究の実施、その成果の社会への実装、リーダーシップの発揮といった、重要な役割や期待が託されています。我々は、これらの責務に対して、対話が最も効果的な平和構築の手段であると考えます。

そこで、被爆地広島に開学した「平和の大学」として、広島大学はこの会議を通じて、世界の主要大学の学長らと共に、持続可能な平和への道筋を探ります。この会議では、平和に向けた共通の理念や行動指針を共有し、対話を続ける強い意志を確認することを目指します。

日 時 : 2026 年 8 月 6 日 (木) 14:15～16:40
会 場 : 広島大学東千田キャンパス慎思棟 5F SENDA LAB
開 催 校 : 広島大学
言 語 : 英語 (同時通訳なし)

<参加予定大学 (調整中)> 11 か国・地域 17 大学

- ・日本：広島大学、東京大学、東京科学大学、名古屋大学、広島市立大学
- ・アメリカ：アリゾナ州立大学、コロンビア大学
- ・イギリス：シェフィールド大学
- ・イタリア：ペルージャ大学、ペルージャ外国人大学
- ・イラク：イラクアメリカン大学バグダッド校
- ・インド：インド工科大学ボンベイ校
- ・インドネシア：ハサヌディン大学
- ・カナダ：コンラッド・グレーベル・ユニバーシティ・カレッジ
- ・韓国：延世大学

- ・台湾：国立中央大学
- ・フィリピン：ビザヤ州立大学

海外大学長らは、8月6日の平和記念式典や、本学東千田キャンパスで開催される原爆死没者追悼式にも参加を予定しています。

【プログラム】（※今後変更の可能性がります）

時間	プログラム
14:15-14:20	記念撮影
14:20-14:25	開会挨拶 広島大学長 越智光夫
14:25-14:30	来賓挨拶①【調整中】
14:30-14:35	来賓挨拶②【調整中】
14:35-14:40	来賓挨拶③【調整中】
14:40-15:20	各大学からのスピーチ①
15:20-15:40	コーヒーブレイク
15:40-16:15	各大学からのスピーチ②
16:15-16:20	平和学長会議 第1回専門家会合報告
16:20-16:40	平和学長宣言採択


司会：広島大学 理事・副学長（グローバル化担当）金子慎治

※ご要望があれば、閉会後に10分程度ぶら下がり取材（越智学長、金子理事）を予定。

※メディアの方は、「第6回平和学長会議」についての取材が可能です。

「平和学長会議第1回専門家会合」は非公開の会議となりますが、「第6回平和学長会議」の中で議論の内容を報告いたします。

<参考：過去の開催実績>

	概要	参加大学
第1回	 <p>開催日：2024年8月6日 会場：広島大学東千田キャンパス</p> <p>世界7カ国・地域10大学の学長らで平和と持続可能性に関する大学の役割を議論し、「平和学長宣言」を採択しました。</p>	<p>7カ国・地域10大学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本：広島大学 ・米国：アイダホ大学、コロンビア大学 ・台湾：国立成功大学、国立中央大学 ・イタリア：パヴィア大学、ペルーシャ外国人大学 ・インドネシア：ハサヌディン大学 ・インド：インド工科大学ボンベイ校 ・スウェーデン：世界海事大学

<p>第 2 回</p>	 <p>開催日：2024 年 11 月 25 日 会場：広島大学東千田キャンパス</p> <p>アフリカ連合を代表してパンアフリカン大学の 4 つのキャンパスからの代表団を迎え、アフリカにおける平和と高等教育の連携について議論が深められました。</p>	<p>5 カ国・3 大学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広島大学 ・ パンアフリカン大学 <ul style="list-style-type: none"> ・ PAUWES (アルジェリア：水・エネルギー科学) ・ PAUSTI (ケニア：基礎科学・工学・イノベーション) ・ PAUGHSS (カメルーン：ガバナンス・人文科学・社会科学) ・ PAULESI (ナイジェリア：生命地球科学) ・ トレムセン大学 (アルジェリア)
<p>第 3 回</p>	 <p>開催日：2025 年 3 月 21 日 会場：リーガロイヤルホテル</p> <p>本学が 5 事業連続採択となっている文部科学省・世界展開力強化事業のパートナー大学を招き、学生の国際交流を通じた平和について議論を深めました。</p>	<p>11 カ国 12 大学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本：広島大学 ・ インド：ビルラ技術科学大学ピラニ校 ・ インドネシア：インドネシア教育大学 ・ オーストリア：グラーツ大学 ・ エジプト：カイロ大学、エジプト日本科学技術大学 (E-JUST) ・ ザンビア：ザンビア大学 ・ スウェーデン：世界海事大学 ・ タイ：カセサート大学 ・ マラウイ：マラウイ大学 ・ 英国：シェフィールド大学 ・ 米国：アリゾナ州立大学
<p>第 4 回</p>	 <p>：2025 年 8 月 6 日 会場：広島大学東千田キャンパス</p> <p>被爆 80 年の節目として、世界 9 か国・地域 12 大学の学長らで平和と持続可能性に関する大学の役割を議論し、「平和学長宣言」を採択しました。</p>	<p>9 か国・地域 12 大学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本：広島大学、国連大学、福島県立医科大学 ・ 米国：アリゾナ州立大学、コロンビア大学 ・ 台湾：国立中央大学 ・ イタリア：ペルージャ外国人大学 ・ マレーシア：トゥンク・アブドゥル・ラーマン大学 (UTAR) ・ インド：インド工科大学ボンベイ校 ・ スウェーデン：世界海事大学 ・ ドイツ：ライプツィヒ大学 ・ スペイン：バスク大学
<p>第 5 回</p>	 <p>開催日：2026 年 2 月 4 日 会場：リーガロイヤルホテル</p> <p>アラブ大学協会の協力のもと、アラブ諸国を中心とする 6 カ国 8</p>	<p>6 か国・8 大学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本：広島大学 ・ ヨルダン：アラブ大学協会、ヨルダン大学 ・ アラブ首長国連邦：アブダビ大学 ・ イラク：アンバール、バグダッド大学 ・ カタール：ドーハ大学院研究所 ・ チュニジア： ・ チュニス・エル・マナール大学

大学・機関と平和と持続可能性に関する議論を深めました。	
-----------------------------	--

【お問い合わせ先】 国際室国際部グローバル化戦略グループ 吉盛・河原林 TEL:082-424-4621/6045 (携帯：8/6 限り 070-1258-7501<吉盛>)
--

第 192 回 学長定例記者会見 発表事項 3

令和 8 年 6 月 25 日

**学部別模擬授業や研究施設見学等で魅力を発信！
 広島大学オープンキャンパス 2026 を開催します**

本年度のオープンキャンパスは、例年どおり本学の 3 つのキャンパスで開催します。

広島大学サタケメモリアルホールの全体プログラムでは、学長基調講演のほか、在学生による大学紹介や、大学説明会を行います。各学部で実施するプログラムは高校生・受験生を対象としますが、全体プログラムは保護者の方にも是非ご参加いただきたい内容です。

申込みは個人による事前申込制で、7 月 1 日（水）正午からオンラインで受付を開始します。

昨年度は約 13,000 人の方にご参加いただきました。本年度も、広島大学の魅力をより知っていただくためのプログラムをたくさん準備していますので、本学に興味・関心をお持ちの高校生・受験生の、多くのご参加をお待ちしております。

開催日：8 月 5 日（水）、7 日（金）

場 所：東広島キャンパス（東広島市）、霞・東千田キャンパス（広島市）

内 容：①学部別プログラム

（学部・学科紹介、模擬授業、研究室紹介、個別相談等）

②全体プログラム

（学長基調講演、在学生による大学紹介、大学説明会）

事前申込期間：7 月 1 日（水）正午～7 月 12 日（日）

時間	8 月 5 日（水）	8 月 7 日（金）
----	------------	------------

① 学部別プログラム（東広島キャンパス・霞キャンパス・東千田キャンパス）

※事前申込期間に申込可能な学部・学科等は 1 つのみです。

※事前申込期間終了後、定員に空きがあるプログラムについては追加申込を受け付けます。追加申込では、複数の学部・学科等への申込が可能です。

10:00-12:00		東広島キャンパス 総合科学部、教育学部、工学部、 生物生産学部、情報科学部
14:00-16:00	東広島キャンパス 文学部、経済学部（昼間コース）、 理学部、工学部	霞キャンパス 医学部、歯学部、薬学部 東千田キャンパス 法学部、経済学部（夜間主コース）

② 全体プログラム（東広島キャンパス：広島大学サタケメモリアルホール）

10:30-11:30	大学説明会
12:15-13:45	学長基調講演・在学生による大学紹介
14:30-15:30	大学説明会

※各学部の実施内容を、一例としてご紹介します。

■総合科学部（総合科学科）

模擬授業（人間探究領域・自然探究領域・社会探究領域）、学生による体験談の紹介

■文学部

学部概要紹介、模擬授業（インド哲学・仏教学または英米文学語学）、研究室公開、教員・学生による個別相談

■教育学部（第三類・多文化・グローバル教育学プログラム）

プログラム説明、学生からのメッセージ、留学生・在学生との交流アクティビティ、質疑応答

■法学部

学生による学生生活紹介、入試・教務についての説明、検察庁の業務に関する説明、模擬授業

■経済学部（昼間コース）

模擬授業、学部概要説明、学生による学部紹介（学生生活など）、学生の相談コーナー

■理学部（物理学科）

放射光科学研究所見学（模擬実験など）、東広島天文台見学（四次元シアターなど）、キラリノット研究所見学

■医学部（保健学科看護学専攻）

専攻紹介、施設見学会（VR教材体験・分娩介助演習など）、進路相談会

■歯学部

学部概要説明、学科・専攻概要説明、個別受験相談、施設見学

■薬学部

学部概要説明、入試説明、学生からのメッセージ（薬学科・薬科学科）、質疑応答

■工学部（第三類）

類紹介、学生による学生生活・プログラム紹介、個別相談・自由見学（研究室見学など）

■生物生産学部

模擬授業、入試説明、学生によるキャンパスライフ紹介、各プログラム紹介のパネル展示、入試相談、研究室訪問

■情報科学部

学部概要説明、入試説明、模擬授業

※スケジュール等の詳細は、広島大学オープンキャンパスサイト（<https://www.hiroshima-u.ac.jp/oc/>）をご確認ください。

【お問い合わせ先】

広島大学高大接続・入学センター

TEL:082-424-6172

Email:nyusi-group@office.hiroshima-u.ac.jp

OPEN CAMPUS

広島大学
オープンキャンパス
2026

本気の
広島大学
を
あそび
たい



注目の 取り組み ①

文部科学省「未来を先導する世界トップレベル
大学院教育拠点創出事業 (FLAGS)」に採択

全国6大学/
西日本地域では**広島大学**が**唯一採択**

日本のイノベーションを牽引し、
多様な社会のステージで活躍する
リーダーを輩出

参画大学 / 島根大学、岡山大学、山口大学、徳島大学、香川大学、愛媛大学、高知大学

注目の 取り組み ②

高度な臨床・研究能力を有する医師養成促進支援
文部科学省「高度医療人材養成拠点形成事業 (タイプA)」
に採択

全国10大学 / 中国四国エリアでは**広島大学**が**唯一採択**

医学生や医学系大学院生が臨床実習や研究に参画

注目の 取り組み ③

令和5年度大学・高専機能強化支援事業
「高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援 (ハイレベル枠)」
に選定

全国7大学 / 中国四国エリアでは**広島大学**が**唯一選定**

中国四国エリア最大規模の情報系大学院課程を構築



オープンキャンパス特設サイト▲

東広島市 / 東広島キャンパス



総合科学部 / 文学部 / 教育学部 / 経済学部 (昼間)
理学部 / 工学部 / 生物生産学部 / 情報科学部

広島市 / 霞キャンパス



医学部 / 歯学部 / 薬学部

広島市 / 東千田キャンパス



法学部 (昼間・夜間主) / 経済学部 (夜間主)

第 191 回 学長定例記者会見 発表事項 4

令和 8 年 6 月 25 日

モンゴル全土から選抜された優秀な学生 22 人が来日
モンゴル国大統領奨学金を受給する学生を迎え、広島大学
留学プログラムが開講（7 月 7 日開催式）

広島大学森戸国際高等教育学院モンゴル国立科学技術大学留学プログラムの開講式を下記のとおり開催しますので、お知らせいたします。

本プログラムは、モンゴル国立科学技術大学（Mongolian University of Science and Technology：MUST）に在籍する学部 1 年生を、2026 年 7 月から 9 か月間、広島大学の特別聴講学生として受け入れるものです。対象学生は、モンゴル国大統領奨学金プログラム「ILGEELT-2100」の奨学生であり、モンゴル全土から選抜された優秀な学生です。

第 1 期生として 22 人が来日し、広島大学森戸国際高等教育学院の提供する日本語科目、日本文化科目、数学・化学・物理をはじめとする理数系科目等を履修します。学生は、受入期間中に広島大学学士課程の入学試験を受験し、合格者は 2027 年 4 月から広島大学の正規学生として入学する予定です。進学先は、理学部、総合科学部、生物生産学部、工学部、情報科学部など、STEM 分野を中心に想定しています。

本プログラムは、モンゴル国立科学技術大学との大学間協定に基づき、モンゴルの国家的奨学金制度と連動して実施する新たな国際教育プログラムです。2025 年 3 月にモンゴル国のバトムフ・バトツェツェグ外務大臣が越智光夫学長を訪問したことを契機として、モンゴルとの学生交流および教育・研究連携のさらなる発展に向けた取組を本格的に開始します。

記

日 時 令和 8 年 7 月 7 日（火） 13 時 45 分開式

場 所 広島大学法人本部棟 4F 会議室

（東広島市鏡山一丁目 3 - 2）

式次第 一、開式の辞

一、広島大学森戸国際高等教育学院モンゴル国立科学技術大学
留学プログラム受講許可宣言

一、学長式辞

一、閉式の辞

【モンゴル国大統領奨学金プログラム「ILGEELT-2100」】

モンゴル大統領府が実施する4年9か月間の奨学金制度であり、世界の一流大学への留学支援を目的として、優秀な高校卒業生を海外大学へ派遣するものです。これまでに756人以上が18か国の大学へ進学しており、2024～2025年度には315人がモンゴル国立大学及びMUSTの準備課程で学んでいます。また、2023年度の参加者の86%が工学・技術分野へ進学しており、モンゴルの将来を担う高度理工系人材の育成を目的とした国家的取組です。

また、学生は卒業後、モンゴルへ帰国し、同国の長期開発政策「ビジョン2050」に基づき、5年間モンゴル国内で勤務することが義務付けられています。

広島大学での学びを通じて培った知識、技能、経験が、将来的にモンゴルの発展、さらには日本とモンゴルの友好関係の深化に貢献することが期待されます。



越智光夫学長（左）とモンゴル国のバトムフ・バトツェツェグ外務大臣（右）

【お問い合わせ先】

国際室国際部
グローバル化戦略グループ 吉盛・大塚
TEL:082-424-4621/ 6042

令和 8 年 6 月 25 日

平和の構築に向けて世界 30 カ国の多様な科学者が広島大学に集結
日本初開催の「World Forum for Women in Science」を本学で開催

2026 年 7 月 18 日（土）から 20 日（月・祝）まで、広島大学霞キャンパス広仁会館において、「女性科学者のための世界フォーラム（World Forum for Women in Science - Japan : WFWS）日本大会／第 12 回国境なき女性国際会議（Women in Science without Borders : WISWB）」を開催します。

本大会は、「平和のための科学と技術」をテーマに、国内外の研究者、国際機関関係者、政策担当者、教育・医療・イノベーション分野の専門家が広島に集い、科学技術が平和、国際協力、ジェンダー平等、持続可能な社会づくりにどのように貢献できるのかを議論する国際会議です。

初日のオープニングセッションには、国際的な女性科学者ネットワークを牽引してきた、エジプト国立研究センター Amal Amin（アマル アミン）教授、欧州の研究政策・科学外交に携わってきた Angela Liberatore（アンジェラ リベラトーレ）氏に加え、広島大学の新福洋子教授らが登壇します。また、7 月 19 日（日）には、研究者のキャリア形成とケアをテーマとするプレナリーセッションを、7 月 20 日（月・祝）には、科学的知見を政策や社会に伝えるためのワークショップを開催します。

広島大学は、被爆地・広島に立地する大学として、本大会を通じて、科学技術を平和と国際協力にどう生かすのかを国内外の研究者・関係者とともに議論し、その成果を広島から発信します。

- 日 時： 2026 年 7 月 18 日（土）～20 日（月・祝）
- 大会名： 第 12 回国境なき女性国際会議
（Women in Science without Borders : WISWB）
- テーマ： 平和のための科学と技術
- 会 場： 広仁会館（広島大学霞キャンパス内 [広島市南区霞]）
- プログラム： チラシ参照
- 参加費について： 参加をご希望の方は、学会への登録と参加費の支払いが必要です。
- 申込み方法： チラシ記載の二次元コードよりお申込み
- 定員 現地：300 人、オンライン：無制限
- その他： 一部同時通訳あり

取材について 全てのプログラムについて取材可能。ご希望の際は、下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

<WFWS>

WFWS (World Forum for Women in Science) は、WISWB (Women in Science Without Borders) が主催する女性科学者の国際的なネットワーク形成と国際協力の推進を目的とした国際フォーラムです。毎年世界各地で開催されており、2026年大会は本学が開催校を務めます。

<過去の開催地情報>

2022年：プトラ大学（マレーシア）

2024年：エンニオ・モリコーネ音楽公園講堂（イタリア）

2025年：ヤルムーク大学（ヨルダン）

2026年：広島大学（日本）

【お問い合わせ先】

World Forum for Women in Science - Japan事務局

Mail：wfws2026@gmail.com

電話：082-424-4314（渡辺）

World Forum for Women in Science - Japan

女性科学者のための世界フォーラム日本大会

The 12th International Conference for Women in Science without Borders

2026/7/18(土)-20(月)

広島大学霞キャンパス

広仁会館

広島市南区霞1-2-3



参加登録者向けオンライン配信あり/一部同時通訳あり

平和

科学のための

技術

オープニングセッション 7/18(土) 9:30-10:30 第1会場

国境を越えて：女性科学者が牽引するグローバル・サイエンス・ディプロマシー

座長：鹿嶋 小緒里 (広島大学 教授)

演者：Amal Amin (エジプト国立研究センター 教授)

新福 洋子 (広島大学 教授)

小野 遥 (日本学術会議若手アカデミー 代表)

Angela Liberatore (欧州大学院大学 サイエンス・ディプロマシー・フェロー)

プレナリーセッション1 7/18(土) 10:40-12:10 第1会場

分配的正義の視点から捉えるサイエンス・ディプロマシー：

科学の公共性と国際協力の再設計

座長：新福 洋子 (広島大学 教授)

坂元 晴香 (日本学術会議若手アカデミー 国際分科会副代表)

演者：Sam Chan Siok Yee (Global Young Academy 共同代表)

Jan Marco MÜLLER (European Commission チームリーダー)

標葉 隆馬 (慶應義塾大学 准教授)

Paul Arthur Berkman (国際学術会議 フェロー)

有本 建男 (JST 参与、GRIPS 客員教授、国際学術会議 フェロー)

プレナリーセッション2 7/19(日) 10:15-11:45 第1会場

ケアを再構築する：

負担の再分配から、人生の豊かさの共有に基づく研究者のキャリア形成

座長：菅野 早紀 (青山学院大学経済学部 准教授)

松本 大亮 (日本学術会議若手アカデミー)

演者：Antonia Morita Iswari Saktiawati (Universitas Gadjah Mada)

前原 はづき (株式会社ライフ・ポートフォリオ 代表)

松原 圭子 (国立成育医療研究センター女性の健康総合センター

オープンイノベーションセンター準備室 室長

ダイバーシティ研究室 室長)

Zille Anam (UK リサーチ・イノベーション・インド事務所

シニアプログラムマネージャー)

Rob Jenkins (ヨーク大学 教授)

参加登録
プログラム詳細



主催 / World Forum for Women in Science - Japan 事務局

広島大学医系科学研究科国際保健看護学

Mail : wfws2026@gmail.com



令和 8 年 6 月 25 日

**「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業
(通称 J-PEAKS)」の取組に関する報告**

日本全体の研究力を牽引する地域中核拠点として、一昨年度、広島大学は「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業(通称 J-PEAKS)」に採択されました。

本学は、半導体・超物質、再生・細胞医療・創薬の融合研究領域を中心に、世界的に稀少な紫外線(UV)領域の放射光による可視化を基盤として、研究力向上戦略を推進します。また、「人・知・資源の好循環」のハブとして異分野融合エコシステムを形成し、国際頭脳循環・産業集積を促進します。

地域中核拠点の形成に向けた本学のさまざまな取組みについて、最新情報をお知らせします。

(1) AI 時代に対応した研究支援を強化しています

広島大学では、J-PEAKS 事業のもと、研究活動支援や研究環境整備など研究力強化に向けた取組を推進しています。研究者の生成 AI 活用支援もその一環として実施しており、AI 時代に対応した研究支援を通じて、研究者の外部資金獲得力の強化や研究活動のさらなる活性化を目指しています。

【開催報告】「エージェント時代の研究と執筆」セミナーを開催

令和 8 年 6 月 1 日～2 日、東京大学名誉教授・東京都市大学特任教授のトム・ガリー氏を講師に迎え、ライティングセンターセミナー「エージェント時代の研究と執筆 ～AI とどこまで行くべきか～」を開催しました。セミナーでは、生成 AI や AI エージェントが研究活動や論文執筆に与える影響、研究者の役割や研究倫理などについて議論を行いました。

**▶ アーカイブ動画 (学内限定)**URL : <https://www.hiroshima-u.ac.jp/wrc/news/98004>**【開催案内】外部資金申請に活かす生成 AI 活用セミナーを開催**

令和 8 年 6 月 29 日、研究者の研究力・申請力向上を目的とした「外部資金申請に活かす生成 AI 活用セミナー ―研究アイデアの整理から申請書作成まで」を開催します。

本セミナーでは、生成 AI を活用した研究アイデアの整理や競争的資金申請書の作成・改善手法、AI を活用した先行研究調査の最新動向などを紹介し、研究者の外部資金獲得力の強化を支援します。



(2) 地域と研究をつなぐ新たな研究支援制度をスタートしました

広島大学共創科学基盤センター（ELSI Hiroshima）は、『ELSI/RRI（*） for Science（ELSI/RRIの視点を、研究の計画・実施・社会実装に基盤として組み込み、科学の質と信頼性を高める）』という概念のもと、学際融合研究活動を支援する「令和8年度 共創科学基盤センターによる研究活動支援」の学内公募を開始しました。

研究成果を社会に還元し地域課題の解決につなげるためには、研究の初期段階から地域住民や自治体、企業などとの対話を通じて社会的課題を共有することが重要です。広島大学では、「J-PEAKS」のもと、科学技術と社会の調和を目指す ELSI/RRI 研究を推進しております。本公募を通じて分野横断型・萌芽的研究や関連イベントを支援し、地域との共創による新たな価値創出と研究成果の社会実装を加速させます。

(*) ELSI（Ethical, Legal and Social Issues）：倫理的・法的・社会的課題

RRI（Responsible Research and Innovation）：責任ある研究・イノベーション

【公募概要】

- 応募締切：令和8年7月13日（月）17：00【必着】
- 支援内容：研究活動支援（100万円程度/件）
イベント支援（30万円程度/件）
- 採択数：10件程度 ※研究活動支援およびイベント支援を合わせた件数
- 支援期間：採択通知後～令和9年3月31日



【詳細はこちら】

<https://huccs.hiroshima-u.ac.jp/news/news-857/>



地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）とは？

地域の中核大学や研究の特定分野に強みを持つ大学が、その強みや特色のある研究力を核とした戦略的経営のもと、他大学との連携等を図りつつ、研究活動の国際展開や社会実装の加速等により研究力を強化することで、我が国全体の研究力の発展を牽引する研究大学群の形成を推進することを目的とした事業。Program for Forming Japan's Peak Research Universities の通称。

広島大学は2023年度に採択され、2028年度までの6年間で総額55億円の財政支援が予定されています（体系的番号：JPJS00420230011）。



【お問い合わせ先】

学術・社会連携室
未来共創科学研究本部
研究戦略部 研究戦略推進部門 宮良
TEL: 070-6645-2583
Mail: ura@office.hiroshima-u.ac.jp

令和 8 年 6 月 25 日

**第 1 回 FCEI 高校協働セミナー「探究の多様性」を開催
SSH 指定校の実践から探究的な学びを考える**

広島大学未来創造人材教育機構（FCEI）※は、高等学校における探究的な学びの実践と課題について考える「FCEI 高校協働セミナー『探究の多様性』」を初めて開催します。

第 1 回となる今回は、文部科学省のスーパーサイエンスハイスクール（SSH）指定校における先進的な取組を取り上げ、探究学習の実践事例や成果、今後の展望について共有します。高校教員、大学教職員、教育関係者等が相互に学び合い、探究的な学びの充実に向けた議論を深めることを目的としています。

記

日時：令和 8 年 7 月 12 日（日）13:00-15:40

会場：広島大学東千田キャンパス 慎思棟 5 階

SENDA LAB 多目的スペース（広島市中区東千田町 1-1-89）

開催方法：対面・オンライン併用（ハイブリッド開催）

内容：

【挨拶、趣旨説明】「SSH 指定校の実践から探究的な学びを考える」

【事例報告】3 校の SSH 指定校による探究活動の実践紹介

広島大学附属高等学校、山口県立徳山高等学校、玉川学園高等部・中学部

【意見交換・質疑応答】

※詳細は添付チラシをご参照ください

対象：高等学校教員、大学教職員、教育委員会関係者、学生、一般

定員：対面 80 人、オンライン無制限

参加費：無料

主催：広島大学未来創造人材教育機構

取材について：当日の取材を希望される場合は、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

<※広島大学未来創造人材教育機構（FCEI）>

高等学校・大学・社会をシームレスに接続し多様な学習者のニーズに応じた学修機会の創出及び学習支援を行う先導的教育システムを構築し、国内外に展開することを目的とする広島大学の学内共同教育研究施設

【お問い合わせ先】

広島大学未来創造人材教育機構

TEL:082-424-4510

E-mail: miraisouzou@hiroshima-u.ac.jp

令和8年度FCEI高校協働セミナー『探究の多様性』（第1回）

SSH指定校の実践から 探究的な学びを考える

2026年 7月12日（日） 13:00-15:40
（12:30 受付開始）

* オンライン
同時配信あり

会場：広島大学東千田キャンパス慎思棟（旧L棟）5階
SENDA LAB 多目的スペース
（広島市中区東千田町1-1-89）* 学内の駐車場は利用できません

事前申込制
（7月10日（金）締切）



[https://forms.cloud.micro
soft/r/OWArCB2PDy](https://forms.cloud.microsoft/r/OWArCB2PDy)

対象：高校教員，大学教職員，教員志望者，関心のある方
（対面先着80名・オンライン人数制限なし／参加費無料）

広島大学未来創造人材教育機構（FCEI）では，令和8年度FCEI高校協働セミナー『探究の多様性』（全2回予定）を開催します。第1回目のセミナーでは，SSH（スーパーサイエンスハイスクール）に指定されている3校の高等学校の先生方に，探究の指導上の工夫や，そこで日々感じている課題について実践報告をしていただきます。その後のディスカッションでは，理数系教育に限らず，日ごろの探究の指導で感じている疑問や課題について，参加者のみなさんで交流します。

プログラム

開会挨拶 広島大学未来創造人材教育機構／島田昌之 機構長

趣旨説明 広島大学未来創造人材教育機構 高大接続・入学センター／砂原徹 特命教授

SSH実践報告① 広島大学附属高等学校／橋本三嗣 教諭

SSH実践報告② 山口県立徳山高等学校／平林美恵子 教諭

SSH実践報告③ 玉川学園高等部・中学部／矢崎貴紀 教諭

ディスカッション 広島大学未来創造人材教育機構 マネジメント室／影山和也 室長（進行）

閉会挨拶 広島大学未来創造人材教育機構／熊本卓哉 副機構長

【主催】 広島大学未来創造人材教育機構

【後援】 広島県教育委員会・広島市教育委員会

問い合わせ先：miraisouzou@hiroshima-u.ac.jp（広島大学未来創造人材教育機構マネジメント室）



令和 8 年 6 月 25 日

世界の作家や研究者らが文学にある核を語る
国際会議「トランス／ナショナルな核の表現と想像力」を開催

2026 年 6 月 27 日（土）・28 日（日）、本学が協賛・後援する国際会議「トランス／ナショナルな核の表現と想像力」が、東千田キャンパスにて開催されます。

本会議は、核や原爆をめぐる文学・文化表現を主題とする公開プログラムで、専門研究者に限らず、一般の方にも広く参加いただける内容となっています。

特別講演として、ベトナム先住民チャム出身の詩人インラサラによる「あの場所の核エネルギー——現実と夢のはざままで」、ならびに台湾作家・伊格言による「核の人新世——スロー・バイオレンスと文学」が予定されています。さらに、四つのセッションでは、レイシズムとコロニアリズム、アートと越境、汚染とエコロジー、連帯の可能性／不可能性といったテーマを軸に、報告と討論が行われます。

台湾、韓国、カナダ、アメリカ、ベトナム、日本から作家・研究者・批評家が集い、核をめぐる表現と想像力について多角的に議論します。

記

日時：令和 8 年 6 月 27 日（土）～28 日（日）

会場：広島大学東千田キャンパス（広島市中区東千田 1-1-89）

内容：

【特別講演】

『あの場所』の核エネルギー——現実と夢のはざままで

インラサラ氏（ベトナムの詩人）

「核の人新世——スロー・バイオレンスと文学」 伊格言氏（台湾の作家）

【セッション】

- ・レイシズムとコロニアリズム
- ・アートと越境
- ・汚染とエコロジー
- ・連帯の可能性／不可能性

【ラウンドテーブル】

核や原爆をめぐる文学・文化表現の意義や課題について、登壇者と参加者が議論

※詳細は添付チラシをご参照ください

対象：どなたでもご参加いただけます

定員：140人

使用言語：原則として日本語

参加費：無料（レセプションは有料）

取材について：取材をご希望の際は、以下のお問い合わせ先へご連絡をお願いいたします。

【お問い合わせ先】

大学院人間社会科学研究科 准教授 松永 京子 TEL:082-424-6680

国際会議

トランス／ナショナルな

核の表現と想像力

2026. 6/27(土)・28(日)

9:30~20:45

9:00~17:00

参加無料

一般参加歓迎

広島大学 東千田キャンパス

(広島県広島市中区東千田町1-1-89)

6/27(土) TIME TABLE

午前の部／総合校舎 A棟402

- ▶ 9:30 開会の辞 松永 京子 (広島大学)
- ▶ 9:50 - 11:10 【特別講演1】 司会／通訳: 吉井 美知子 (沖縄大学)
 - インラサラ (詩人、ベトナム) 「あの場所」の核エネルギー
— 現実と夢のはざま
- ▶ 11:30 - 12:50 【特別講演2】 司会／通訳: 李文茹 (淡江大学)
 - 伊格言 (作家／詩人、台湾) 核の人新世
— スロー・バイオレンスと文学

午後の部／慎思棟5F 地域連携フロア SENDA LAB

- ▶ 14:20 - 16:30 【セッション① レイジズムとコロナリズム】
司会: 齋藤 祥平 (明治大学) ディスカッション: 齋藤 一 (筑波大学)
 - 村上 陽子 (沖縄国際大学) 沖縄と核をめぐる文学的表現
 - 中村 平 (広島大学) 日本人は原爆投下と被爆保護の非ケアを
核レイジズム／コロナリズムとなぜ認識しないのか
 - ロバート・ジェイコブズ (広島市立大学名誉教授)
笑い事ではない放射能 — 核最前線におけるユーモアのレジリエンス
- ▶ 16:50 - 19:00 【セッション② アートと越境】
司会: 岡村 幸宣 (原爆の国丸木美術館学芸員)
ディスカッション: 東 琢磨 (音楽・文化批評家)
 - 中野 和典 (福岡大学) 教科書と「原爆詩」— 石垣りん「挨拶」を中心に
 - 小杉 世 (大阪大学) 光のアートと記憶
— フィオナ・アムゼンの広島・長崎と太平洋のかけはし
 - 一谷 智子 (西南学院大学) 「多方向的記憶」とアート
— オーストラリアにおける「原爆の国」の受容をめぐる
- ▶ 19:15 - 20:45 レセプション (慎思棟5F地域連携フロア SENDA LAB)

6/28(日) TIME TABLE

午前の部／慎思棟5F 地域連携フロア SENDA LAB

- ▶ 9:00 - 11:40 【セッション③ 汚染とエコロジー】
司会: 高野 吾朗 (佐賀大学) ディスカッション: 結城 正美 (青山学院大学)
 - 松永 京子 (広島大学) 生態学的流れとして(原爆)を想像する
— レスリー・シルコウ「儀式」と小田実[HIROSHIMA]再考
 - 李文茹 (淡江大学) 「核」と「食」から読むシャマン・ラボガン文学
— 「大海に生きる夢」をめぐる
 - マイケル・ゴーマン (広島市立大学) アクティヴィズムのアートと国境
を超える水域 — 米加国境沿いの環境脅威への抵抗

午後の部／慎思棟5F 地域連携フロア SENDA LAB

- ▶ 13:10 - 15:20 【セッション④ 連帯の可能性／不可能性】
司会: 溝淵 園子 (広島大学) ディスカッション: 中谷 いずみ (二松学舎大学)
 - 和田 崇 (九州大学) 〈日本の漁師〉と〈マクロ〉の物語
— 非当事者による物語化の可能／不可能性
 - 川口 隆行 (広島大学) 80年代反核運動と「第三世界」
 - 沈 正明 (朝鮮大学) 原爆の記憶を書く・読むことと「境界」の問題
- ▶ 15:40 - 17:00 【ラウンドテーブル】
司会: 松永 京子 (広島大学) 総評: 米山 リサ (トロント大学)
コメンテーター: 齋藤 祥平 (明治大学) 岡村 幸宣 (原爆の国丸木美術館学芸員)
高野 吾朗 (佐賀大学) 溝淵 園子 (広島大学)
- ▶ 17:00 閉会の挨拶 川口 隆行 (広島大学)

参加申し込み受付中!

参加を希望される方は、2026年6月17日(水)までに、
下記URLまたはQRコードよりお申し込みください。

<https://forms.gle/qMtxdNeUv2UEEetH9>

- 使用言語:原則として日本語
(日本語以外の発表には通訳・翻訳補助予定)
- 会場定員に達した場合、参加をお断りする場合があります。
- レセプションは有料です。

◎事前申込要



【主催】科学研究費(基盤B)「トランス／ナショナルな視座からの核・原爆の(表現)の研究」
原爆文学研究会(第78回)

【協賛】広島大学文学部・広島大学大学院人間社会科学研究所人文学プログラム
広島大学比較日本文化学プロジェクト研究センター

【後援】広島大学大学院人間社会科学研究所 *専用の駐車場はご用意しておりません。公共交通機関等をご利用ください。 お問い合わせ先▶松永 kyokom@hiroshima-u.ac.jp